

2月2日に「お綱掛け神事」

熊野市の花の窟神社例大祭

「お綱掛け神事」(三重県無形文化財)で知られる熊野市有馬町の花の窟神社の例大祭が2月2日(土)午前10時から、行われる。毎年2月と10月に行われているもので、五穀豊穡などを祈願して、しめ縄が張り替えられる機会として、毎年多くの参拝者が訪れる。同神社は高さ70以上の巨岩を、神体とし、日本最古の神社といわれ、神々の母である「イザナミノミコト」を葬ったとされている。しめ縄の張り替えである「お綱掛け神事」は、年に2度神様に触れられる機会として、毎年多くの参拝者が訪れる。神事では、神体である巨岩頂上から氏子や町民らが編み上げた大しめ縄を下ろし、境内南隅の松のご神木に引き渡す。地元小学生による舞の奉納もある。



お綱掛け神事(一昨年の様子)